

## 会員企業紹介

わが社の

# イチオシ



# 産業廃棄物の ワンストップサービスを目指して

## 澤希運輸(有)

代表取締役 中澤 直希 氏 (高崎支部所属)



# Q & A

### ▼会社&自己紹介

当社は二〇〇五年六月に設立。産業廃棄物収集運搬業および一般貨物自動車運送事業を手掛けており、車両台数は全二十四台になります。メインの仕事は大型車両による産業廃棄物(特に建設関連)の輸送で、三十三都府県の産業廃棄物収集運搬許可を保有しています。

二〇一三年には前橋市内に中間処理工場を取得(株)エコ・デスタンス)し、収集運搬から中間処理までをグループ会社内で対応できるようにしました。また、二〇一五年には新社屋を建設し、現在地に移転しています。

私は大学を卒業してから製造業に一年だけ勤務し、父が設立した会社へ入社。その約一年後、澤希運輸の設立と合わせて社長に就任しました。最初は社長とは名ばかりでしたが、大型免許の取得、大型トラックでの実務や車両整備、運送業の要である配車業務などを経て現在に至っています。

### ▼イチオシ

会社紹介でもお話したとおり、グループ会社内で収集運搬から中間処理までを担えるので、面倒な手続きの短縮やコストの削減などが可能です。また、大型トラックでの大量輸送はもちろんのこと、さらに大量輸送が可能なたレーラー(平ボデー車・最大二十七トン積載)を昨年十月に導入したので、一度に大型トラックの一・五〜二倍の輸送が可能になりました。そうしたトータルなメリットをお客様に提供できるのが、当社のイチオシになります。

荷物を確実に積み、安全運転で目的地へ無事に運び届け、帰庫するまでが輸送サービスになります。そして、その車両のハンドルを握るのは他ならぬドライバーです。



イバーです。当社の事業を語るうえでドライバーは不可欠であり、もともと大事な存在なのを言うまでもありません。

### ▼経緯

中間処理工場の取得は、父が事業をスタートさせてからの一つの目標でした。父は日頃から口に出していたので、思うだけでなく言い続けることの大切さを学びました。実際に中間処理ができるようになって、収集運搬の幅の広がりや運搬効率の上昇、さらに新規顧客の獲得にもつながりました。

トレーラーの導入については「自分も乗ってみたい」という社員(ドライバー)からの要望がキッカケです。もちろん個人差はありますが、ドライバーであれば「より大きな車両を運転

したくなる」のが心情というもので、それを叶えてあげたいと思いました。実際に導入した結果、ドライバーたちはとても喜んでくれましたし、輸送の効率化も図れました。

### ▼展望

将来的には収集運搬から中間処理、さらに最終処分までをグループ会社内で完結する「ワンストップサービスの実現」を目指しています。それができれば、お客様にも当社にも、さらに大きなメリットが生まれてきます。

ドライバー不足と高齢化は業界全体の大きな課題です。新卒を含めた若い人材の採用・育成の仕組みを社内に整備しないと、今後は生き残っていけないかもしれません。また、一昨年には前橋高等特別支援学校から障害を持つ生徒を採用しました。女性・高齢者・障害者など、幅広い人材が活躍できるダイバーシティ経営を進めたいと考えています。

所在地 / 高崎市金古町153-13  
連絡先 / TEL 027-360-6667  
URL / <http://sawaki-unyu.com/>